2026年10月30日

各　位

会社名　株式会社 王将フードサービス
代表者名　代表取締役社長 渡邊 直人
（ コード番号 ９９３６ 東証プライム ）
問合せ先　専務取締役執行役員
管理本部長　稲垣　雅弘
（ TEL 075－592－1411 ）

2027年３月期第２四半期（中間期）業績予想数値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年5月15日に公表しました2027年３月期第２四半期（中間期）（2026年4月1日～2026年9月30日）の業績予想数値と本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記の通りお知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、通期業績予想につきましても下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

１．業績予想数値と実績値との差異及び通期業績予想の修正について

(1) 2027年３月期第２四半期(中間期)業績予想数値と実績値の差異(2026年４月１日～2026年９月30日)

（連結）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	60,179	4,902	5,045	3,257	62.01
今回実績値（B）	57,203	3,068	3,262	2,023	38.51
増減額（B－A）	△2,976	△1,834	△1,782	△1,233	－
増減率（%）	△4.9	△37.4	△35.3	△37.9	－
（ご参考） 前中間期実績（2026年3月期中間期）	58,503	5,314	5,462	3,655	68.30

（個別）

	売上高	経常利益	中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	59,889	5,027	3,240	61.68
今回実績値（B）	56,903	3,246	2,008	38.22
増減額（B－A）	△2,985	△1,781	△1,232	－
増減率（%）	△5.0	△35.4	△38.0	－
（ご参考） 前中間期実績（2026年3月期中間期）	58,274	5,441	3,635	67.92

（２）2027 年３月期　通期連結業績予想数値の修正（2026 年４月１日～2027 年３月 31 日）

（連結）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	121,357	10,951	11,036	7,096	135.09
今回修正予想（B）	118,381	9,117	9,254	5,862	111.54
増減額（B－A）	△2,976	△1,834	△1,782	△1,233	－
増減率（％）	△2.5	△16.7	△16.2	△17.4	－
（ご参考）前期実績（2026 年３月期）	116,838	10,410	10,702	7,470	140.84

（個別）

	売上高	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	120,708	10,980	7,040	134.02
今回修正予想（B）	117,722	9,198	5,808	110.50
増減額（B－A）	△2,985	△1,781	△1,232	－
増減率（％）	△2.5	△16.2	△17.5	－
（ご参考）前期実績（2026 年３月期）	116,351	10,652	7,420	139.91

２．差異及び修正の理由

（１）第２四半期（中間期）業績予想数値と実績値との差異の理由

売上高におきましては、第１四半期において、前年同期においてテレビ番組等のメディア露出により大きく売上を伸ばしたことに対する反動減や、コロナ禍以降も強含みで推移してきたデリバリー需要が落ち着きを見せたこと、並びに物価高に伴う消費者の節約志向の高まり等を受け、計画を下回って推移いたしました。

第２四半期に入り、７月に投入した季節限定商品「夏餃子」「夏ラーメン」等の販売が好評を得て、直営全店売上高が７月以降３か月連続で各月の過去最高を更新するなど、売上は回復基調にございますが、第１四半期の減収分を補うには至りませんでした。

利益面では、豚肉や食用油、包装資材等の原材料価格が高止まりしたこと、並びに将来の持続的成長に向けた人的資本投資（ベースアップの実施や新卒採用の拡大等）に伴う人件費や減価償却費の負担が相まって、各段階利益ともに前回発表予想を下回る結果となりました。

（２）通期業績予想修正の理由

第２四半期に入り、季節限定商品の展開やタイムパフォーマンス向上策（料理提供スピードの短縮、店舗内動線の見直し等）が奏功し、売上は回復軌道に乗っております。下期につきましても、来店動機の創出のため、「秋ラーメン」等の季節商品や復活メニューを投入するとともに、比較的廉価で料理の組み合わせを楽しんでいただけるジャストサイズメニューの拡充を行い、さらには、店舗の商圏特性を活かした営業時間の延長など、各店舗が立地、顧客層、そして時間帯等に応じた商品・サービスのご提供に努めることで、売上は堅調に推移すると見込んでおります。

また、利益面でも、米の仕入れ価格の緩和効果が現れてくることや、店内モバイルオーダーの順次拡大やテイクアウトネット予約システムの改修等、お客様の利便性向上に加えて業務効率化を実現することで、収支は着実に改善に向かうものと見込んでおります。

以上より、下期の業績予想につきましては期初想定通りとなる回復を見込んでいるものの、上期における未達分を反映し、通期連結業績予想を修正することといたしました。

当社グループは、今後も持続的な企業価値の向上と業績目標の達成に向け、全社を挙げて取り組んでまいります。

（注）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上